

【令和5年度 ふるさと納税活用事業】

与那国方言保存継承支援事業

事業内容

【実施内容】

- ・与那国方言辞典編纂に係る業務
調査、資料収集、編集委員会の開催等。
 - ・普及啓発に係る業務
方言サミット開催、方言大会への派遣、学校への講師派遣等。
- 事業費(うち、ふるさと納税額・寄付者希望)
4,689千円(2,681千円・文化・伝統の保護)

事業目的

消滅の危機にある与那国方言の普及、伝承を一層促進するため、方言の保存継承に必要な辞典の編纂を柱に、講座やイベントの開催、世代間の交流推進などに取り組み、与那国方言の復興を目指す。

事業実施の効果

危機言語サミットの開催等により、方言に対する理解の普及が進み、各種行事で方言を使用する機会の増加、若い世代の積極的な方言の使用などへの波及効果が認められる。

年度毎の取組

	R5年度	R6年度	R7年度
方言辞典編集委員会	22回		
普及啓発事業	危機言語サミット開催 方言大会派遣		
講座等	郷土学習 スンカニ作詞講座		

イメージ図



2日間にわたり、延べ200人余りの来場者があった危機言語サミット。



方言辞典編集委員会では、辞典発刊に向けて、収集した語彙資料から例文作成等、活発な協議が行っている。



郷土学習等に講師を派遣し、方言の保存継承支援。